

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nutr Sci Vitaminol. 53:191-197,2007	Effects of Alfacalcidol on Cancellous and Cortical Bone Mass in Rats Treated with Glucocorticoid: A Bone Histomorphometry study.	Yamada H	整形外科
日整会誌 81:22-28,2007	関節マーカーによる変形性関節症の 病態評価とその臨床応用	山田 治基	整形外科
Hip Joint 33:359-363,2007	人工股関節全置換術後に臼蓋内壁に 発生した osteolytic fracture の 3例 -新しいストレス骨折の概念 を提唱する-	安藤 謙一	整形外科
Hip Joint 33:218-221,2007	Cement 人工股関節置換術における Metalback cup と non metalback cup の検討	中川 雅人	整形外科
PHARM STAGE 7(10):46-51,2008	変形性関節症 医療現場での最新治 療と新薬開発	山田 治基	整形外科
OS NOW Instruction 上肢の骨折・脱臼 手技のコツ&トラブル シューティング (2):96-108,2007	前腕骨骨折	鈴木 克侍	整形外科
東海スポーツ傷害 研究会会誌 25(1):29-31,2008	環指・小指ボクサー骨折の治療成績	鈴木 克侍	整形外科
薬局 増刊号 59(4):1006-1008,2 008	骨・関節疾患アプローチのための解 剖生理	森田 充浩	整形外科
今日の治療指針 2008 50:798-799,2008	小児の肘周辺骨折	鈴木 克侍	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科 Knack&Pitfalls 手の外科の要点と 盲点 :171-173,2007	両前腕骨骨折の手術のコツ	鈴木 克侍	整形外科
Journal of Dermatological Science 48:43-52,2007	Isolation of multipotent stem cells from mouse adipose tissue.	Akamatsu H	皮膚科
新薬と臨床 56(2):35-39,2007	皮脂欠乏性皮膚炎に伴うかゆみに対 する塩酸フェキソフェナジンの効果	赤松 浩彦	皮膚科
組織培養研究 26:185-192,2007	マウス脂肪由来培養細胞から軟骨細 胞への分化誘導	赤松 浩彦	皮膚科
Visual Dermatology 6(4):370-371,2007	シワ・たるみに使用される機器一覧	秋田 浩孝	皮膚科
日本小児腎不全学 会雑誌 27:142-143,2007	小児ドナーからの献腎移植の検討	佐々木ひと美	泌尿器科
Cell Transplantation 17:129-134,2008	Serum neutrophil gelatinase-associated lipocalin as a predictor of organ recovery from delayed graft function after kidney transplantation from donors after cardiac death	Kusaka M	泌尿器科
Pediatric Nephrology 23(7):1059-1071、 2008	Global gene expression profiling of renal scarring in a rat model of pyelonephritis	Kusaka M	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gynecologic Oncology 108 : 226-223,2008	Randomized phase III trial of pelvic radiotherapy versus cisplatin-based combined chemotherapy in patients with intermediate- and high-risk endometrial cancer	Udagawa Y	産・婦人科
JOURNAL OF CHROMATOGRAPHY B 861 : 95-100, 2008	A highly sensitive assay for ritodrine in human serum by hydrophilic interaction chromatography-tandem mass spectrometry	Tada S	産・婦人科
BJOG 114(9):1128-1137, 2007	Overproduction of the follistatin-related gene protein in the placenta and maternal serum of women with pre-eclampsia	Koishi -Pryor K	産・婦人科
J.Obstet. Gynaecol.Res 34(1)1-6,2008	Mouse model for allogeneic immune reaction against fetus recapitulates human pre-eclampsia	Nishizawa H	産・婦人科
Med Sci Monit, 14(2)9-12,2008	Efficacy of selective venous catheterization in localizing a small androgen-producing tumor in ovary	Nishiyama S	産・婦人科
日本婦人科腫瘍学 会雑誌 26(1) : 巻頭,2008	「卵巣がん治療ガイドライン 2004 年版」の検証 —アンケート調査の 集計結果から—	宇田川康博	産・婦人科
臨床眼科 61(5):885-890, 2007	水晶体核落下に対する optical fiber-free intravitreal surgery system(OFFISS)を用いた硝子体腔 内双手超音波乳化吸引術	谷川 篤宏	眼科
臨床眼科 61(7):1295-1298, 2007	超音波乳化吸引術と眼内レンズ縫着 術の同時手術後に強膜炎を起こした 1例	水口 忠	眼科
Otol Jap 17:103-112,2007	マルチスライス CT によるヒト耳管 の立体解剖的計測	吉岡 哲志	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳鼻と臨床 53:128-135,2007	軽症嚥下障害例に対する訓練法の検討	岩田 義弘	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 53:272-278,2007	9歳女児喉頭外傷の直達鏡下外科的治療の1例	岩田 義弘	耳鼻咽喉科
診療と新薬 44(5):15-21	スギ花粉症の咽喉頭症状に対する塩酸オロパタジンによる初期療法の有用性	内藤 健晴	耳鼻咽喉科
The Journal of Nuclear Medicine 48(10):1641-1650, 2007	Evaluation of Probable or Possible Dementia with Lewy Bodies Using <sup>123</sup> I-IMP Brain Perfusion SPECT, <sup>123</sup> I-MIBG, and <sup>99m</sup> Tc-MIBI Myocardial SPECT.	Inui Y	放射線科
映像情報(M) 39(1):92-93,2007	頭部領域における256列面検出器CTの初期経験	村山 和宏	放射線科
INNERVISION 22(8):40-46, 2007	当院における神経放射線領域での64列マルチスライスCTの活用法	村山 和宏	放射線科
日本がん検診・診断学会誌 14(2):177-181, 2007	PETクリニックにおける職員の被ばく線量の検討	外山 宏	放射線科
日本外傷学会雑誌 21(1):29-36,2007	隣損傷診療の現況;第20回日本外傷学会発表より	荒木 恒敏	救急科
日 齒 麻 誌 36(2):190-191, 2007	鎖骨頭蓋異形成症患者に対する歯科治療時の全身麻酔経験	惣城 一美	歯科口腔外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
診断病理 24(2):212-216, 2007	甲状腺 carcinoma showing thymus-like differentiation(CASTLE)の1例	浦野 誠	病理部
診断病理 24(2):155-161, 2007	唾液腺腺房細胞癌の検討 組織多彩 性の理解と診断のポイント	浦野 誠	病理部
日本臨床検査自動 化学会誌 32(5):829-835, 2007	血清シスタチンC測定試薬（イアト ロC y s - C）の非特異反応に対す る改良評価	石井 潤一	臨床検査部
日本集中治療医学 会雑誌 15(1):99-100,2008	糖尿病と非糖尿病の急性心筋梗塞患 者退院後1年間の Quality of Life (QOL) 比較	石井 潤一	臨床検査部
Journal of Cardiology 50(4):253-258,200 7	慢性心不全患者の Quality of Life 評 価 ACC/AHA ガイドラインステー ジで分類した患者群間の比較	石井 潤一	臨床検査部

計 216 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 菱田 仁士			
管理担当者氏名	事務局長	村上 唯三郎	安全管理室長	星長 清隆
	総務部長	伊藤 稔	感染対策室長	吉田 俊治
	人事部長代理	岩堀 浩隆	薬剤部長	中野 一子
	入院医事課長	原田 勝己		
	外来医事課長	柘植 宏憲		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 外来医事課 入院医事課 各診療科 フィルム中央管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来カルテ・入院カルテ共電子カルテとしています。</li> <li>・外来カルテは10年、入院カルテは30年としています。</li> <li>・X線写真は、中央管理しています。なお一部は各診療科毎に保管しています。</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	外来医事課 入院医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課 入院医事課 薬剤部	
の規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局 長	村上 唯三郎
閲覧担当者氏名	薬剤部長	中野 一子
	総務部長	伊藤 稔
	人事部長代理	岩堀 浩隆
	入院医事課長	原田 勝己
	外来医事課長	柘植 宏憲
閲覧の求めに応じる場所	事務局 応接室	

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	61.0%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		20,449人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,972人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		5,270人
	D：初診の患者の数		51,725人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延数を記入すること。



## 規則第9条の23及び第1条の11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3 名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 2 名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 8 ) 名</p> <p>・ 活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全管理のための委員会で用いる資料及び会議の議事録作成とその保管</li> <li>● 事故等に関するカルテの記載確認や指導</li> <li>● 事故発生時の対応 (患者家族への説明など) についての確認や指導</li> <li>● 事故の発生原因や要因が究明されているか確認や指導</li> <li>● 関係部署との連絡調整</li> <li>● 安全管理の教育企画・運営・準備</li> <li>● 医療安全対策の推進</li> <li>● 医療安全管理報告の集計・分析</li> <li>● 医療安全に係る資料の収集</li> <li>● 院内死亡についての情報把握</li> <li>● セーフティマネージャーの活動の統括</li> <li>● 重大事故発生時の患者・家族への説明等の初動対応</li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1条 医療安全に関する基本的考え方</p> <p>第2条 医療安全管理に関する組織及び体制</p> <p>第3条 医療問題対策委員会、医療事故調査委員会及び事故防止対策委員会の設置</p> <p>第4条 安全管理室・安全管理専任者の設置</p> <p>第5条 医療安全推進者(セーフティマネージャー)の設置</p> <p>第6条 医薬品安全管理責任者の設置</p> <p>第7条 医療機器安全管理責任者の設置</p> <p>第8条 医療安全管理のための教育研修</p> <p>第9条 報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の為の方策</p> <p>第10条 医療事故発生時の対応における基本的な考え方</p> <p>第11条 患者への情報提供</p> <p>第12条 患者相談窓口の設置</p> <p>第13条 本指針の周知並びに見直し、改正</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療問題対策委員会 月1回 (年12回) 安全管理報告全般に関する審議</li> <li>● 事故防止対策委員会 月1回 (年12回) 安全管理報告に基づく検証・分析・防止策立案</li> <li>● セーフティマネージャー連絡会 隔月1回 (年6回) 部署への周知</li> </ul>	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 医療安全に対する職員への啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>● メディケーションエラーを回避する 金沢大学医学部附属病院 臨床試験管理センター 古川裕之先生</li> <li>● 患者安全管理・医療の質の向上を目指し～協同行動は自己認識から～ 星城大学 経営学部医療マネジメントコース主任・専攻長 北野達也先生</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有 ) ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容 報告内容の分析、原因究明、防止対策を事故防止対策委員会で審議し、医療問題対策委員会へ提案、方針決定後、セーフティマネージャー連絡会を通じ、各部署職員へ周知する。システム的に改善が必要なものについては、各担当委員会を通じ検討を依頼する。また、職員が自由に参加、検討する事例検討会を開催し、立案された改善案を病院の安全管理関連委員会で承認決定する。</li> </ul>	